

「美作地域不登校支援ネットワーク」主催の相談会に参加して

10月7日（土）に津山東公民館で13時から16時まで「不登校や進路に関する相談会」がありました。ネットワーク立ち上げの頃、事務局の会議に何回か参加したこともありましたが、不登校中心で、一般社会との関係をあまり重視しないお考えが強く、きびの会の趣旨と重なりにくく、しばらくご無沙汰していました。

私たちは不登校も引きこもりの一種と考えていますから、社会全体の構造の中で不登校を考える必要がありますが、その可能性があまり望めないと考えられました。具体的にどんな問題があるのかという指導のテクニックが中心になり、社会全体との関連性が希薄でした。見学をあまり歓迎しないようで、開かれた会ではないようでした。不登校は恥ずかしい問題とでも主催者は考えられているのでしょうか。今回の相談会もそんなことが中心であると思われましたが、中学生の相談事例がありましたので、そのことと関連して私たちの支援の在り方を打診するということで参加してみました。

13のブースがあり、希望ヶ丘ホスピタルが2人の心理士さんを派遣していましたので、我が家の次男のこともあり、総合案内係にそのブースへの相談を申し込みました。15か所ぐらいの関係団体からの資料が届いていましたが、「津山・きびの会」からはリーフレットと「トトロ通信」の54号と55号、それからKHJ本部の「旅立ち」最新号（第85号）をそれぞれ20部ずつ届け、不登校問題にも新しい視点の導入を願い、心理士さんにもそんな願いを伝えました。（川島）

みんなねっと岡山大会の基調講演を

聴いて

10月19日倉敷市の芸文館で「みんなねっと岡山大会」があり、何年振りかの山本先生に会いたくて参加しました。公演は1時間20分と短くあっという間でしたがご自身の体験からの講話であり、岡山弁も含めたお話は親しみのわくものでした。

「社会の「普通」に仲間入りすることを目指した生産性を中心にした価値観を見出した人にも出会えたが、短期的に成功と思えるが時の経過とともに疲れいし、傷つき、孤立し、ひきこもったりした人も多くいる。法律も制度も働く場所も増え、障害福祉は向上したといわれている。しかし、逆に「無縁社会」が急速に進行している。」と話された。

また、「苦しみのある人は優しい」まさかの時に電話できると思うと「我慢できる」という人は多いとも話された。そういえば、「いつでも電話していいよ」と伝えているのにそんなに頻繁でない彼はそうなのかな。お元気な山本先生に会えて幸せな一日でした。（Y. C）



にぎわい市（ソシオ一番街）

11月12日（日）10:15～14:00
今年もご協力をお願いします！
（トトロ集合は8:00をお願いします）